

石川県立高等学校生徒用端末調達(購入)公募型プロポーザル 審査基準

大項目	中項目	No	小項目	評価基準
実績	実績	1	過去の学校や自治体への納品実績、納品に付随して初期設定、構築、保守等を実施した実績(GIGA端末キッティング台数、Googleライセンス数、GIGA端末の保守対応自治体数)について記載すること。	端末の大規模納品の実績、Chromebookの納品実績、学校や自治体への納品実績が十分あるか。
ハードウェア	形状・性能	2	端末の形状(大きさ、厚み等)、搭載するCPUのメーカー・型番、メインメモリ容量、内蔵ストレージ容量を記載すること。	生徒の使いやすさ、持ち運びやすさに影響する形状となっているか。【実機評価】 生徒が授業等で利活用するために十分なスペックを有しているか。今後、利活用の方法が広がった際に対応できる性能を有しているか。
		3	バッテリーの最大駆動時間、充電回数及びバッテリー容量(〇〇回充電を行った後のバッテリー容量)を記載すること。	生徒が追加充電することなく、1~6時間目の授業で利活用できる駆動時間を有しているか。バッテリーの劣化が進んでも利活用への支障が少ない最大駆動時間を有しているか。
	バッテリー	4	バッテリーの劣化防止に関する技術的な工夫や実施した試験内容及び結果等、準拠する規格等を記載すること。	学校での利活用(教室外を含む)や家庭へ持ち帰っての利活用・保管(夏休み等を含む)を想定したバッテリー劣化防止対策がなされているか。(温度変化、児童生徒による充電等も考慮)
		5	バッテリー交換の方法及びその価格、交換に必要な期間を記載すること。	バッテリー交換の方法(交換依頼手順等)及びその価格、必要な期間は、県や学校の負担が小さいものとなっているか。
		6	端末の重さを記載すること。	教室外での授業や持ち帰りの際の可搬性を確保するため、重さの抑制に努めているか。【実機評価】
	タッチペン	7	USI規格への対応、充電や本体収納の可否、タッチペンで書いたときの精度向上のための技術的な工夫を記載すること。	授業で様々な利活用を円滑に進めることができるものとなっているか。【実機評価】
		8	タッチペンを紛失・破損した際に、県又は学校が調達する方法及びその際の価格を記載すること。また、タッチペンの紛失防止のための工夫について記載すること。	調達する方法及び価格が県や学校にとって、利用しやすいものであるか。タッチペンの紛失防止の工夫は効果的か。
堅牢性	9	MIL規格の準拠状況や端末本体の堅牢性・耐久性向上・故障防止のための工夫、端末製造事業者において実施した試験内容及び結果等について具体的に記載すること。	学校での利活用(教室外を含む)や家庭へ持ち帰っての利活用・保管(夏休み等を含む)に十分な堅牢性を有しているか。	
納入・デプロイメント等	納入・デプロイメント等	10	仕様書の期限までに確実に納入及び設定等ができるか、端末確保の状況及び初期設定の準備状況等を具体的に記載すること。また、デプロイメント(役務)として実施する範囲、実施方法、実績等を具体的に記載すること。期限について前倒しや県の希望に応じた対応ができる場合、期限や対応可能な内容を記載すること。また、本業務の体制図及び業務を遂行するためのスケジュールを記載すること。	期限までに契約を確実に履行できるか。デプロイメント(役務)の範囲や実施方法、期限に関する提案等は、県や学校の負担に配慮したもののか。
保守・サポート	問合せ対応	11	体制、連絡方法(平日・土日、日中・夜間)、対応所要時間、無償対応の範囲・期間、有償対応の範囲・費用について記載すること。	問合せに対応する体制がしっかりしているか。連絡方法、対応所要時間、無償対応の範囲・期間は県や学校の負担に配慮したもののか。有償対応の範囲・費用は適切か。
	故障対応	12	体制、連絡方法(平日・土日、日中・夜間)、対応所要時間、無償修理の範囲・期間、有償修理の範囲・期間・費用について記載すること。	故障に対応する体制がしっかりしているか。連絡方法、対応所要時間、無償修理の範囲・期間は県や学校の負担に配慮したもののか。有償修理の範囲・期間・費用は適切か。
	保守期間・修理方法	13	無償保証の期間を記載すること。また、無償保証期間中及び無償保証期間終了後の修理端末の回収、配付手順について具体的に記載すること。	無償保証の期間延長などの提案がされているか。修理の手順は県や学校の負担が小さいか。(回収・配達やその費用等)
	導入・研修サポート	14	導入サポート(Google Workspace for Education環境の構築支援等)、研修サポート、データ可視化サポート(ダッシュボード機能の構築)等の内容及び体制、実績、サポートに関する独自の提案を具体的に記載すること。	導入、研修、データ可視化等のサポート内容は、県や学校にとって効果的か。また、サポートを効果的に実施するための十分な体制や実績を有しているか。
既存端末の回収・処分	既存端末の回収・処分	15	GIGA第1期端末の無償回収・無償処分に含まれる内容(データ消去の無償実施の可否、消去報告や消去証明の無償発行の可否等を含む。)を記載すること。また、GIGA第1期端末の処分実績を記載すること。	既存端末の回収・処分の内容は、情報の適切な管理がなされているか。また、県や学校の負担に配慮したもののか。
追加提案	追加提案	16	その他、無償または有償の追加提案があれば、具体的な提案を記載すること。	県や学校に、有益な提案がされているか。特定の製品やクラウドサービス等に依存し、将来の環境整備の自由度を制約することにならないか。